

# 国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

一般選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
政治学研究科	政治学専攻	英語	語学辞書 可

【問題】以下の英文を日本語に訳しなさい。

著作権の関係上、具体的な英文は過去問題上公開いたしません。  
出典を参考にしてください。

出典：Bryner, Gary C. (2003) "Public Organizations and Public Policies," in B. Guy Peters & Jon Pierre (eds.) *Handbook of Public Administration*, London: SAGE Publications, p. 301.

\*<sup>1</sup>(Lindblom, 1968: 4)

# 令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

## 出題の意図と採点のポイント

研究科名 政治学研究科 政治学専攻

試験期別 I期

試験区分 一般選考

試験科目名 英語

### ■出題の意図

この問題は、公共政策の形成過程に関する理論的記述を含む英文を正確に日本語に訳すことができるかどうか、その力について問うことを目的としている。具体的には、(1) 専門的な英文読解力の確認をすること、(2) 概念的整理と表現力の確認をすること、(3) 政策形成に関する適切な訳語（専門用語）の選択の確認をすること、の三つである。

そして、(1) は特に政策過程の構造や限界に関する記述を文脈に即して論理的に把握する力の確認をすること、(2) は英文に含まれる理論的な概念（例えば、政策の循環性や曖昧性、評価の困難性など）を適切な日本語で再構成する力の確認をすること、(3) は政策形成モデルに関する基本的な理解を前提として、公共政策理論の基本的枠組みを理解しているかどうかの確認をすることである。

### ■採点のポイント

採点のポイントは、単なる単語の置き換えではなく、公共政策に関する背景知識や論理構造の理解、意味の正確さと論理の再現性、専門用語の適切な訳語の選択と読みやすい訳文になっているかが重視される。具体的なポイントとしては、(1) 内容の正確な把握、(2) 日本語表現の適切さと論理性、(3) 英文の概念を日本語で再構成する力、(4) 専門用語の適切な訳語の選択、(5) 文体としての整合性、の5点が挙げられる。